

平成22年5月7日
水産庁

水産物の市況について（平成22年4月及び5月）

—東京都中央卸売市場における平成22年4月（平成22年3月21日～4月20日集計）の市況と、
平成22年5月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成22年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ増加となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成22年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（全体的に低調）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物時さけが増加するものの、原料、製品ともに減少することから、全体的に見ると前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格は新物などがあることからやや強含みに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は北部太平洋海域、駿河湾から伊豆諸島周辺（ゴマサバ主体）、山陰沿岸、九州沖合海域。）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（端境期であることから、生鮮品は品薄状態であるため冷凍品の入荷が増加している。今後本格的な漁が始まる）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は赤身類、脂身類ともに前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は先月と比べると大幅に増加すると見込まれ、卸売価格は初物需要もあることからやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
22年	56	790	50	788	53	760
前年	54	792	46	774	51	773

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	521	136	92	70
さけ・ます(平均)	647	102	105	107
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	102	106
(あきさけ塩蔵品)	368	100	80	94
(ときさけ塩蔵品)	840	100	131	127
(べにざけ塩蔵品)	1,000	100	116	115
(さけ類冷凍品)	629	103	108	110
さば(生鮮品)	300	65	76	66
するめいか(平均)	447	99	99	88
(生鮮品)	995	141	127	135
(冷凍品)	330	100	95	95
あじ(生鮮品)	694	101	108	112
まぐろ(冷凍品)	1,287	102	93	98
(めばち冷凍品)	944	102	101	109
(きはだ冷凍品)	731	101	83	105
(くろまぐろ冷凍品)	2,860	100	81	88
(みなみまぐろ冷凍品)	1,967	101	96	91
かつお(生鮮品)	1,164	102	74	93

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 4月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成17年~21年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 中谷、小林
直通 03-3591-5612